



### 3. 業績予想に与える影響

本件による当社の平成30年3月期の業績に与える影響はありません。

#### 【用語説明】

(注1) iPS細胞：生体に存在する体細胞に特定の遺伝子（初期の報告ではOCT3/4、SOX2、KLF4、c-MYCの4つ）を導入することで誘導される多能性幹細胞。マウスでは2006年に、ヒトでは2007年に、京都大学の山中伸弥教授らによって樹立が報告された。iPSとはinduced Pluripotent Stemの略。

(注2) TCR遺伝子／遺伝子再構成：TCRはT Cell Receptor（T細胞受容体）の略で、T細胞の細胞膜上に発現し、抗原を認識して結合する抗原受容体分子。T細胞は、遺伝子再構成と呼ばれる遺伝子断片の切り貼りやつなぎ変えで多様なTCR遺伝子を形成することによって、がん細胞、細菌やウイルスが持つ膨大な数の抗原を認識することができる。

(注3) サイトカイン：細胞が産生して他の細胞の増殖・分化・活性化・細胞死などの機能発現を誘導する可溶性の分子の総称。免疫系の細胞が産生し、近傍の細胞に働く。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

東京大学医科学研究所 東京大学特任教授部門  
幹細胞治療部門  
特任教授 中内 啓光（ナカウチ ヒロミツ）  
Tel: 03-5449-5330 E-mail:nakauchi@ims.u-tokyo.ac.jp

特任研究員 渡部 素生（ワタナベ モトオ）  
Tel: 03-5449-5333 E-mail:mwatanab@ims.u-tokyo.ac.jp

ブライトパス・バイオ株式会社  
管理部  
Tel: 03-5840-7697 FAX: 03-5840-7716